

# 家庭学習の手引き 1、2年

みえるところにはっておきましょう

## 神足小学校が考える家庭学習の意義とは

本校は、家庭学習のねらいとして、次の2点を設定しています。

(1) 既習事項の習熟を図り、基礎基本の定着を図ること。

例：計算ドリルや漢字ドリル、タブレットドリル、プリント学習、日々の復習など

(2) 学習課題を自己選択し、自らの学習方法で学びを深めること。

例：自主勉強、予習、テスト勉強、塾や習い事の学習など

中学校はもちろん、高学年になるにつれ(2)のねらいの比率が高まってくると考えます。この家庭学習の手引きを参考にして、中身の濃い家庭学習に取り組みましょう。



## 0 がくしゅうようぐをととのえよう

- ・ シンプルで つかいやすいものを そろえましょう。
- ・ じぶんの もちものには、なまえを かきましょう。
- ・ ふてばこ  
《えんぴつ5ほん(2BかB) あかえんぴつ けしごむ なまえぺん》
- ・ かくときは したじきをつかい、けすときは けしごむで ていねいに けしましょう。

## 1 かていがくしゅうをはじめるまえに(こころがまえ)

- ・ じかんを きめて とりくみましょう。  
(なんじから? なんぷんかん? おうちの人ときめましょう。)
- ・ いわれるまえに、じぶんで すすんで やりましょう。
- ・ テレビや ゲームなど、みながら・やりながら がくしゅうするのは やめましょう。
- ・ かばんのなかを ぜんぶだして、がっこうからの てがみや、れんらくを おうちのひとに わたしましょう。
- ・ つくえの うえを せいりせいとんしましょう。
- ・ しせいを ただしく しましょう。
- ・ まずは、がっこうの しゅくだいからやりましょう。



## 2 かていがくしゅうのないよう(ていがくねん)

★タブレットドリルも つかいましょう。

よむこと ・こくごの ほんを「、」「。」にきをつけて、ただしく よみます。  
・ようすを おもいうかべて よみます。

かくこと ・「 」のかいわぶんは、きもちをこめて よみます。  
・えんぴつを ただしくもち、よいしせいで かきます。  
・ひらがな、かたかな、かんじを ただしく かきます。  
・かんじは、かきじゅんや おくりがなにも きをつけて かきます。  
・みじかいぶんも つくってみましょう。

けいさん ・たしざん、ひきざんのれんしゅうをしましょう。  
・2年生は 九九のれんしゅうも しましょう。  
・かずの よみかたや、かきかたを れんしゅうしましょう。  
・おはなしもんだいづくりにも ちょうせんしてみましょう。

## 3 がくしゅうのようい

★あしたの じゅんびが、あしたの べんきょうの やるきにつながります。

- ・がっこうで つぎの ひの じかんわりを かくにんします。
- ・がっこうにも わすれものを しないように しましょう。(つくえのなかも たしかめて かえります。)
- ・おうちに かえったら、まずは かばんのなかを いったんは からにして、つぎの ひの じゅんびは、 ぜんじつに れんらくちょうを みながら、 たしかめましょう。
- ・しゅくだいが おわったら、まず、えんぴつを けずりましょう。



## 4 保護者のみなさんへ

- ・個人差を認めて、一緒に準備したり学習の確認をしたりしてください。
- ・家庭での小さな頑張りや成長を認めてあげてください。
- ・家庭と担任の連携が大切です。どんなことでも知らせてください。
- ・親子の会話を大切にしましょう。